

令和6年度 第2回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和6年9月24日（火） 午後1時30分 開会
午後3時45分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
・町長 佐野 和広 ・教育長 市川 隆 ・教育長職務代理者 望月 聡美
・教育委員 渡邊 正志 ・教育委員 望月 正宏 ・教育委員 山本 純司
- 4 事務局等の出席者
町長部局 秘書政策監 滝 基成 総務課長 遠藤 一明
教育委員会事務局 学校教育課長 若林 将基 生涯学習課長 遠藤 賢
学校教育課 岩田 茂樹 生涯学習課 山本 泰輝
- 5 協議事項
(1) 南部地区小学校の統合について
(2) ICT教育の取り組み状況について
(3) 施設改修工事の進捗について
南部町活性化センター・アルカディア文化館
(4) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開 会 （望月聡美教育長職務代理者）

お彼岸を迎えようやく過ごしやすい季節となりました。学校や町内でも行事が増え、とても楽しみにしています。本日の総合教育会議では、新小学校の校名とICT教育の取り組み状況など、子供達に直接関わる重要な議事を取り扱います。ぜひ積極的な意見を宜しく願います。ではただ今より第2回教育総合会議をはじめます。

2 町長あいさつ

皆さんこんにちは。先週南部藩の関係で遠野市へ行き、昔の日本を象徴しているような場所だなと思いました。遠野市と南部町の寒暖差が20度あり、南部町は非常に気候も良い所ですがそういう遠い所にも南部氏との関係があるということで、しっかりとやらなくてはいけないなと思いました。今回の能登半島ですが1月1日に震災があり、復興に向けて動き出したところに今回の集中豪雨ですから非常に心配です。また時間をかけて復興すると思いますが、災害に関して南部町は非常に強いですから町民の皆さんも安心しているのではないかと思います。いま世の中はIT化が進んでいますがダイバーシティ、多様性に富んだ社会、またインクルーシブ、包括的なという意味ですがこの両方を兼ね備えた持続可能な社会を目指して、我々も必要なことは大いに力を入れて対処していく必要があると思います。本日は皆さんのご意見を伺いたいと思いますので宜しくお願いします。

3 教育長あいさつ

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

ここ数年第2回総合会議は12月に開催されていましたが、今年度は令和8年度にスタートする南部地区新小学校に関する案件であることから、このタイミングでの開催になりました。本日は前回に引き続き、南部地区小学校の適正配置について議題に取り上げられている他、小中学校におけるICT教育の取り組み状況や、文化館・活性化センターの改修事業などについて報告があり、皆さんからご意見をいただく予定となっています。議題の中にはICT機器の更新といった次年度予算に関わる内容も含まれます。令和6年度はようやく折り返し地点に到達しようというタイミングですが、早くも令和7年度に向けた取り組みが始まろうとしています。今年は例年に比べ少し早いですが、例外に第2回会議が開催されるのには訳があると理解をしております。初回会議で申し上げました通り、この会議は町長と教育委員会が教育行政の対向や重点的報ずべき施策等について協議調整を行う場であり、両者が教育政策の方向性を共有して一致して執行することが期待されるもので、この会議で調整がついた事項については、それぞれその結果を尊重して事務を執行することになります。つまりこの会議は、教育行政における重要な施策の予算編成に大きく関わることになり、次年度予算要求を取りまとめる12月よりも前に開かれることは、協議の内容を予算に反映することになるのではないかと思います。町長宜しく願います。そういったことをご認識いただきつつ、活発な意見交換がなされますようお願い申し上げます。本日は宜しく願いいたします。

4 議 事

(1) 南部地区小学校の統合について

【南部地区小学校の統合について新小学校の校名・南部地区小学校の適正配置に関する経過等・南部地区新小学校統合準備委員会について、学校教育課長から説明する】

(市川教育長) 校名を募集する時に定例教育委員会で結果についてお知らせすることが大事という意見をいただき、この度の結果報告となりました。このタイミングで良いかも合わせてご意見をいただきたいと思います。統合準備委員会の絞り込み、定例教育委員会での意見集約をふまえて、町長いかがですか。

(町長) 異論はないです。良いと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。

(山本委員) 数値的には60%南部という地区名を入れるということで、歴史的な部分もふまえて書いているのでその通りかなと思います。年代的にも50代以上の方が60%程いるので、そういう方々も南部小学校に賛成していると思う。全国にも14の南部小学校があるなかで、青森の南部小学校と山梨の南部小学校の交流や絆づくりにつながるのではないかなと思う。

(望月(正)委員) 数の面や南部氏という歴史的背景からみても、また読みやすく分かりやすいという趣旨に照らし合わせてみても合致しているのではないかなと思う。ただ睦合や栄に対する思いを持った方々も結構いるので、新しい学校のなかで栄と睦合の良さを表わしたり、もし表記できる場面があれば、例えば学校教育目標の具現化などでそういうものを出して使っていただき、保護者の方に配っていただけると納得し、いいものができると思う。どういう学校にするかが一番大事なので、学校の名前と同時に学校の発展ということを期

待したいと思う。

(望月(聡)委員) 南部小学校は分かりやすく良いと思います。小学校の名前について皆さんにお知らせするというのは、興味を持っている方もいるので親切で良いと思う。睦合の睦と栄小の栄で仲睦まじく栄えるといういい感じの意味なので、それを学校目標などに使っていたらと栄や睦合の方も嬉しいと思います。

(渡邊(正)委員) 99 件の全部を見て、それぞれ皆さんが真剣に考えて子供達の成長を願っていると感じました。結論から言うと南部という名称が平仮名も含めて約 6 割ということで、妥当だと思います。留意事項にあるように、町内外の方々や児童が理解しやすく馴染みやすい校名が望ましいということで町民の皆さんも納得いくのではないかと思います。

(秘書政策監) 南部でよろしいかと思います。命名の理由もしっかりされています。やはり次に睦栄という意見もありましたが、それぞれの学校の長い歴史を考えれば、校名を使っていたきたいという思いもよく理解できます。委員さんで睦合と栄の思いを大切にすると意見もあったなか、それぞれの良さをできるだけ活かす様な学校づくりを考え、理解いただけるようにしていけたらという良いのかなと思います。

(遠藤総務課長) 異論はございません。町長の話にもあったように南部藩の繋がりもあるので、南部という名前は非常に分かりやすく結構だと思います。栄と睦合の名前については、また学校のほうでどうゆう風に教育に残していくのか考えていただきたいと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。皆様からのご意見をいただいた上で、教育委員会としての考えを意見書にまとめて町長に提出をさせていただきたいと思います。未定稿のお便り第 2 号ですけれども、午前中の定例教育委員会の決定を受けて作ったと思いますが、ここで準備委員会からの提言を尊重し教育委員会が南部小学校とすることを決定しました。決定理由は次の通りです。ということで理由が述べられていて、その次にこれは教育委員会から学校の設置者である町長に意見書を提出し、今年 10 月というようになっています。町長から南部町議会 12 月定例会に新小学校の名称について提案し、議決後に正式決定となりますと言及しておりますが、これをこのタイミングで町民にお知らせすることで皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございます。では準備をしていただいて、町民にお知らせしていくということで、宜しく願いしたいと思います。小学校の統合について他に付け加えることはありますか。

(若林教育課長) 校名以外で今改修工事をして準備をしています。14 ページ以降に 9 月上旬現在の工程表を載せてあります。工事は校舎改修工事と校舎周辺の外構工事で、現在校舎の改修工事についてはコンサル会社、と 5 月に契約をしどういう工事が必要なのか、それから学校からの要望等を考えながら最終段階にきています。工事については来年度春から進めていくという形になります。校舎周辺の外構ですが、プールの解体やそういったところは 9 月に終了した議会でコンサル設計費用が予算計上できたので、設計会社を選定して今後どういった工事が必要なのか進めていきます。これも来年度の工事になり校舎の改修と外構の工事が重なるので、スケジュールも考えてやっていきたいと思います。また具体的な話になりましたらご説明をさせていただきたいと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。大きな予算を伴う事業ということ、その準備が整いつつあるということで、これから大きな予算についての要望がまとめられていきます。町長から何かありますか。

(町長) 何としても令和 8 年の 4 月にスタートしたいので事務局にしっかりと対応してもらいたいと思います。

(遠藤総務課長) 令和 8 年 4 月 1 日開校に合わせ、工期が非常に詰まっているので、スムーズに進めていただきたい。

(市川教育長) また違った角度からご覧いただき、アドバイスをいただけたらと思います。

(2) ICT 教育の取り組み状況について

【ICT 教育の取り組み状況については、学校教育課岩田が資料により説明しました。】

(市川教育長) ありがとうございます。教育 ICT に関する現状と課題、それから次年度の整備計画などについて細かく説明していただきました。今日の資料について教育委員さんは初めてご覧になるということで、色々お感じになったことあるかと思います。最初に町長いかがでしょうか。

(町長) 当然こういう流れっていうのは必要であるわけですが、今 ChatGPT なんかも企業や各自自治体でやっていたりします。端末の予算を見ると補助率が 3 分の 2、3 分の 1 が地方負担ですね。これは時代の流れで了承するしかないですね。更新はあと何年ですか。

(学校教育課岩田) 令和 3 年度から 7 年度まで 5 年間使用し 7 年度予算で更新し、8 年度から使用します。

(山本委員) 昨年つくば市の研修に参加し、条件をどう作り上げていくか構築していくかが大事ということ、また積み重ねをどういう風に練っていくのかということが大事だと思いました。例えば実践例というのをつくば市では冊子にしていき、それを教員がみんなで共有していく。そうすると教師も子供達も入りやすく、やりやすくなる。そしてポテンシャルが上がるという相乗効果になるのではないと思う。教員のポテンシャルが上がれば、子供達の上達はもっと早いかもしれない。そういうことを踏まえて 5 年のメンテナンスは大事だと思うし、どの町へ行ってもそういうものが揃っているということがギガスクール構想の根本なのでこれは遅れてはならないと思う。読売新聞で財務省が 983 人のデジタル教科書使用状況のアンケートを取ったそうです。デジタル教科書で教えている教員が 3%、紙とデジタル教科書を使っているのは 88%で、一応使っているということにはなると思います。去年の 5100 人に英語、数学でデジタル教科書を使用しているか大まかな調査があったようで、それだと毎回授業で使用しているが 18%、4 回に 1 回の使用が 46%で使用率は少し広がっていると思います。東大の名誉教授のコメントで「紙と同じ内容のデジタル教科書を使う意味は無い。」というのもあり国は両方進めていますが、デジタルはプログラミングや学びの道具として使用すべきで、学びは紙でいいという考え方もあります。ただ、時代が要請しているという部分にも応えていかなければならないと考え、そういうことを積み上げていかなければならないと思う。やって分かったことを財産としていくということだと思う。資料の 5、6 ページを見て、先程生成 AI の話が町長からありましたが ChatGPT の場合はリスクがあると言われています。著作権をどうするかなど ChatGPT は問いに対して色々な情報を集め、その中から答えを見つけ文章化していくので、私達人間はその情報を何処から引き出したか分からないし、不適切発言もあり得るのでそういう恐ろしい部分のチェックをどうするかという課題は認識しなければい

けないと思う。あと効果的な ICT 活用の推進ということで ICT の指導員をつけていただき、学校ではその指導や情報交換が有効に使われているそうで、これは活用していく価値があると思う。あと校務の DX 化、ロケーションフリーについて教えてください。

(学校教育課岩田) 今まで仕事をする時は、必ず学校でパソコンを開き校務処理をしなければならなかったが、今後は自宅のパソコンでログイン ID、パスワードを用いてそこに入っていける、自宅に限らず何処からでも校務処理ができるというようなシステムを県下統一で構築しています。今完全にインターネット系と LG 系は分離しているが今度はそれが一つになり、より便利により強化されたセキュリティーでというシステム体系になります。

(山本委員) 今は基本学校にある情報を家に持ち帰ることはあってはならないし、基本的に仕事は学校の中で完結しなければいけないと思いますが、これからはそういうことが進められていくということですね。

(望月(正)委員) 社会の多様化や不確実性な社会の実現など予測困難な時代が来るだろうという中で、子供達が教師に与えられた課題の解決方法だけをするのではなく、自分で自らの課題が何かを考え、その解決方法を見つける為に ICT 教育は非常に大事だと思う。その為には先生方の労力が必要だと感じますし、先生方の力をつけるために研修をするのですが、教育委員会の方や指導員の方達が南部町の ICT 教育のために色々と連絡を取り合い頑張ってくれています。先日の ICT 教育研修会でキャンバを各学校単位でやってほしいと要望があり、学校単位でできないので他の学校の先生方が研修場所に行くような形でやっています。キャンバは便利でいいソフトだと聞くので、こういう研修についても学校を回ってやることを考えてはどうか。またキャンバは色々なことができるので著作権はキャンバの会社なのか、学校はどのように理解しているのかその辺をお聞きしたいです。

(学校教育課岩田) キャンバの研修は、栄小学校の先生が睦合小学校に来て行いました。富沢小学校については ICT 支援指導員がみえて研修を行いました。南部中学校についてはまだ要望はないのですが、活用していかなければならないので ICT の先生と相談し計画していきたいと思います。キャンバの著作権については、キャンバ内で作ったものは基本的には著作権がかからないということで、それを商用として使用することがなければ、基本的に教育活動内で作ることに対してはフリーであります。

(市川教育長) 保護者の立場からしてどうですか。

(望月(聡)委員) 学校訪問や授業参観を見ていると、本当に先生方が色々工夫してこの端末を使って授業をしていると思いました。この間、授業参観で小学校6年生がキャンバを使って信長、秀吉、家康の自己紹介カードを作るということをやっていて面白いなと思いました。中学生がドリズソフトで初めて数学の宿題をやっているところを見たのですが、一次関数のグラフの問題で正直な感想を聞いたら、やりづらいと言っていました。なぜかという画面を見ながら問題を解いていき、計算式と答えを画面上に書いて先生に送るようなのですが、ペンが学校に置いておかなければいけないと言われて指で書いているのでやりづらいそうです。結局紙に書きながら数字を入力していました。普通 10 分ぐらいで終わるところ、30 分かかったりしていました。こういうやつは紙ベースの方がいいと思います。でも例えば数学の図形の問題で、立方体をここで切ったらどういう目になるのかなど自分の頭の中で考えなくてはいけないことを ICT を使って立体が浮かび上がるようにするなど、使い方によってはすごく便利だなと思います。小学生の次男に聞くと睦合小は

端末をまだ持ち帰りはしてないのですが、スマイルドリルというソフトがあり、それを授業で時間が余った時や自分だけ先に終わった時などに暇な子はやっているそうです。ただ漢字をタッチペンで書くのですが、正しい漢字を書いているつもりが判定が厳しくエラーになってしまう時もあるので、国語と数学とかはやりづらいのかなと思いました。ただ、理科、社会、英語などは音声も聞けるだろうし科目によって使いやすさが違うかなと思いました。

(市川教育長) 現場の貴重な意見をありがとうございました。つくば市の研修もふまえて渡邊委員どうでしょうか。

(渡邊(正) 委員) ICT 教育は目的があって使うのは重要なんだけど、この時代は ICT 教育がないと生きていけないというのは現実だし、ICT 支援員や情報主任会議などで先生方に ICT の運用能力をつけてほしいと思う。運用能力をつければ働き方改革のように、マニュアル化からデジタル化のような感じで時間の節約を促し、時間の効率化を計るようになってきたらいいと思う。英語はデジタル教材を使用することで昔より楽になりました。コンピューターでアットランダムにやるので非常に効率がよいと思う。もう一つは自分で宿題ができるということで、シートを使えばパッと出るので自分で発音もでき、家に帰ってからでもできるのでぜひ上手く使って効率化を進めてほしいと思う。コンピューターはこういう風な学習能力をつけるかが重要なのでそこは学校で議論してもらいたい。あと各種ソフトウェアの活用というところで、デジタル教科書や事業支援システムなどこういったものは有料だと分かりますが、文部科学省の CBT システム「メグビット」や桃太郎電鉄、ドリルソフトやキャンバなどは有料なのですか。コンピューターが得意な先生がアプリをどんどん取り入れて自分に合ったソフトを使うというのは、お互いに学校間で相談してこういうソフトを入れてやりましょうというようにやるのか、あるいはもっと離れれば隣町と相談してやるとかその辺はどうなっているのか教えてください。

(学校教育課岩田) ソフトウェアに関しましては、デジタル教科書でいきますと学習者用は教科書と同じで無償です。今使用しているのは英語だけですが、基本的に学習者用は文科省から ID が送られてくるのでこれは無料で、教師用のデジタル教科書は購入しなければいけないということです。文科省のメグビットと桃太郎電鉄とキャンバについては無料です。授業支援システムというソフトは各種色々なメーカーが出しているので有料です。ソフトウェアを導入するにあたって町としての考え方は、基本的には先生方や学校からソフトウェアの要望があり、それを ICT の先生方と相談し情報主任会議である程度の意思決定をはかってから予算が必要なものであれば予算に計上したり、すぐ導入できるものであれば南部町ではこれは必要なので導入しますということで、基本的には足並み揃えてやっています。有料のもの、無料のものも基本的に一緒にやっています。峡南では情報センターに申請を出して手続きをしてからでないとソフトウェアを導入できないので、勝手にアプリをダウンロードすることはできません。

(市川教育長) 一通り教育委員さんから考えを伺いましたが、町長いかがでしょうか。

(町長) ChatGPT ですが、我々も喋る時にこれに関してはこういうこと話さなければいけないとか、そういう時に素案も作成できるようですが、みんな画一的な感じになってしまうのでそういう世界も面白くないなと思います。

(遠藤総務課長) GIGA スクール構想は国の方が日本の子供達と世界の子供達の ICT に関す

る知識、能力が乖離しているということから進めた国の方針なので、これはもうやるしかないと思います。国の方も令和 5 年度予算で 2661 億円計上しているということなので、町の方もこれは提示しなければいけないと思います。ただ、ペーパーレスとか ICT に専化するようなところに目標として向かっているので、現段階ではペーパーとパソコンは併用してもいいと思いますが最終的な構想はペーパーレスです。ただ、実はペーパーであるほうが予算は縮小されます。ICT に移行するということはハードやソフト、また経常経費や更新料などお金もかかります。一応そういうことを念頭に置いて、東大の先生が言っていた ICT は道具であってペーパーでも構わないというような意見はあるかと思いますが、最終的にはタブレット端末だけとかそういったことが目標だと思います。こちら、本当に教える先生方が 1 番大変だと思います。子供達はそこに順応してどんどん入ってくるとは思います、先生達はいいい方向に向かう為の教育をしなければならぬので、ぜひそういった方向に向かえるように頑張りたいと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。学びが多様化しているということで、全て ICT に向かうということではなく便利なツールだということです。先生が夏休みの研修で感想を述べてくれている中で、やはり ICT の必要性を理解し、やらなければならないことも分かりましたが今までの学習形態の良いところもたくさんあると思う。今までを否定しているわけではないと思いますが、融合をはかる方向を見出していきたいと思います。というものがありました。まさにその通りで、学びは書いて覚えるという要素があり定着するので、現場の先生方は非常に大変な思いをされていると思いますが、いい方向に進めていただきたいです。質問があるのですが、導入当初はタブレットの動きが悪いという不具合が指摘されていましたが、今はどうでしょうか。今はネットワークシステムが強固になったので画面がフリーズすることなどはないですか。

(学校教育課岩田) そういった声はあがってきていません。基本的に動作については問題ないと思います。Chromebook はアプリケーションを色々入れているわけではなく、クラウド上で動かしているので端末自体に負荷はかかっていません。

(市川教育長) ありがとうございます。I

(3) 施設改修工事の進捗について

南部町活性化センター・アルカディア文化館

【南部町活性化センター改修工事の進捗については生涯学習課山本より説明する】

(市川教育長) 別々に質問したいと思います。まず活性化センター改修工事の進捗状況と選挙対応の説明がありましたが、皆さんからご質問等ありましたらお願いします。この件についてはすでに決定して現在進行形なのでご意見はないかもしれませんが、町長何かありますでしょうか。

(町長) 12 月 27 日完成予定ということで、こけら落としはありますか。

(遠藤生涯学習課長) 特に計画していません。

(山本委員) 選挙があった場合どうなりますか。

(生涯学習課山本) 日程にもよりますが、もしそうなった場合、施設は使用できるようにしま

す。

【アルカディア文化館の改修工事進捗については、文化館館長より説明する】

(市川教育長) アルカディア文化館は老朽化対策と視聴覚室を改善しましたか。

(近藤文化館館長) 文化館が平成 9 年に竣工してから 26 年が経過しています。エレベーターやエアコンが壊れた場合に部品が調達できない状況もあります。エレベーターは基本的にリニューアルで、かごはそのまま利用し 9 人乗りで車椅子が入る形にしていきたいです。エレベーターの中のワイヤーロープなどは新しく変えていくという形でお願いしたいです。

(遠藤生涯学習課長) 図書館に入って右の部分が AV コーナーになっていますが、そこを少し改善しようかと思います。図書館に入って右側が一番いいスペースなので、リニューアルオープンするにあたって少し改善したいと思います。

(市川教育長) 皆さん他に質問、ご指摘ありましたらお願いします。

(山本委員) 改修と同時に来館者にとって動きやすい動線を検討するとか、いい形で改修が進んでいけばと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。他にいかがでしょうか。今築何年というような話で、今回手を入れて長寿命化というニュアンスになるので、これであとどのぐらい寿命が伸びるでしょうか。

(文化館館長) よく防水の工事は 5 年と言われていたりしますが、それ以外については 20 年とかそれより先までという考えでいます。

(生涯学習課山本) 先程のクロンタイルというのもまだ出て 15 年位らしいですが、今のところクレームも無いので 15 年は大丈夫だと思います。

(遠藤生涯学習課長) 文化館は 2 月のリニューアルオープンを目指しているので、そのタイミングに合わせて宮西先生の企画展を行うことで進めています。

(市川教育長) それは展示だけですか。

(文化館館長) ワークショップやお話会などのイベントもあります。

(遠藤生涯学習課長) 2 月 9 日に宮西先生のなんだーランドステージをやるので、そこで使う物を展示したり今までより展示物が少し増えると思います。

(市川教育長) それがリニューアルオープンイベントとしての位置付けですね。

(文化館館長) なんだーランド展は 2 月 8 日から 3 月 20 日までを予定しています。

(4) その他

(市川教育長) 次にその他ということで、事務局の方向かありますか。皆さんよろしいですか。それでは、以上で議事の方は終わります。

(5) 閉会

(渡邊(正)委員) 皆さん慎重な審議をありがとうございました。最初に町長さんが能登半島豪雨のことを話していましたが、報道を見ていて本当に気の毒だなと思います。今日は 3 項目について議論しましたが、施設の方は活性化センターと文化館があと少しでリニューアルできますので、楽しみにまた活用したいと思っています。ICT 教育ですが関係する先生方や

指導者の方々が知恵を絞って今以上に効果的な活用ができればいいなと思います。南部地区小学校の統合については校名のことが話し合われましたが、ここにいる皆さんも好意的な意見ですので、12月の議会で決定していただければと思います。令和8年度に統合ということで工期が予定通り進み、あとは準備委員会で詳細を決定し睦合小と栄小の子供達と一緒に多様性でインクルーシブな学校になればいいなと思います。今日はご苦勞様でした。以上で第2回南部町総合教育会議を終了します。

以上